月刊
城南SSH
福岡県立城南高等学校
スーパーサイエンスハイスクール
活動報告紙
令和８年度８月号
ＳＳＨ課発行

理数コース第２学年

釜山長安高校との交流を行いました

７月 21 日・22 日の２日間、韓国の釜山長安高校から８名の生徒を迎え、研究活動の報告を中心とした交流を行いました。

１日目は、アイスブレイクやペーパータワーチャレンジで交流を深めた後、両校の生徒が研究活動の成果を英語で発表しました。慣れない英語での発表に緊張しながらも、お互いの発表に真剣に耳を傾け、英語で積極的に質問する姿が見られました。

２日目は、城南高校での授業体験、福岡市科学館への訪問、社会課題についての意見交換を行いました。授業体験では、英語ディベートや物理（力学的エネルギー）の授業に参加してもらい、釜山長安高校の皆さんに城南高校の普段の授業を体験していただきました。福岡市科学館では、城南高校の生徒が展示内容を英語で説明し、それをもとに意見を交わしました。さらに、両国が抱える社会課題についても英語で意見交換を行い、共通点や相違点を知ることで、新たな視点や多くの気づきを得ることができました。

２ 日間の交流を通して、海外の高校生の研究に対する姿勢や発表に大きな刺激を受け、私たちもより一層、研究活動に力を入れていきたいという思いを強くしました。12 月には城南高校の代表生徒８名が釜山長安高校を訪問し、研究発表を行う予定です。今回の交流を次の学びにつなげ、これからも互いに切磋琢磨しながら、課題研究をさらに深めていきたいと思います。

開会行事の様子

ペーパータワーチャレンジの様子

科学館交流の様子

理数コース第１・２・３学年　福岡市中学生

中学生理数セミナー

８月１日、８月３日に「中学生理数セミナー」を実施しました。この行事は中学３年生を対象としており、自然科学および工学分野に関する探究活動の体験を通して、本校理数コースの特色を知っていただくとともに、SSH 事業の成果を普及することを目的としています。今年度は物理分野と生物分野の２講座を開講し、各 40 名、計 80 名の中学生が参加しました。本校理数コースの生徒が TA（Teaching Assistant）として実習をサポートし、中学生の実験や考察を支援しました。

物理分野では、凸レンズを用いて光が一点に集まる位置を調べ、焦点距離を求める実験を行いました。さらに、物体からレンズまでの距離、レンズから実像までの距離、実像の大きさの関係を測定し、その結果をグラフにまとめて考察しました。定量的な考察を求める内容であったため難しさもありましたが、議論を交わしながら熱心に実験に取り組んでいました。

生物分野では、糖の種類や飲料成分は酵母菌の発酵に影響するのかを調べました。発酵時間と発生する二酸化炭素量をグラフにまとめて考察しました。参加した中学生は班員どうし活発に意見を出し合い、考えをまとめていました。TA と話をしたり、活動する姿を見たりして、理数コースで学びたいと話す中学生もいました。

実習後には、中学生や保護者を交えた座談会を実施し、本校での学校生活や理数コースならではの学び、SSH での取組について TA が紹介するとともに、参加者からの質問に答えました。本校や理数コースの魅力を知っていただく貴重な機会となりました。

講座の様子（物理）

講座の様子（生物）

座談会の様子